

主日礼拝

2025年6月22日
午前10時30分

前奏

入堂（こどもも一緒に）

参集（報告・紹介・予定）

招詞

「しかし、まことの礼拝をする者たちが、霊と真理をもって父を礼拝する時が来る。今がその時である。なぜなら、父はこのように礼拝する者を求めておられるからだ。」（ヨハネによる福音書4:23）

賛美 こ)137「かみさまにかんしゃ」



神さまに かんしゃしましう、 神さまは よいものをくださった、
ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ。 ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ。

リタニー「さわやかな風」

司式者：神さま、

みんな：わたしたちの神さま、

司式者：心地よい風がわたしたちの心に吹いてきます。

みんな：神さまの愛のようです、感謝します。

司式者：あたたかな太陽がわたしたちのからだに降り注ぎます。

みんな：神さまの愛のようです、感謝します。

司式者：あざやかな若葉は平和のシンボル、

みんな：神さまの愛のようです、感謝します。

司式者：今日は「こどもの日」

みんな：子どもたちを見守り、祝福してください。

司式者：わたしたちの真ん中にいてくださると、イエスさまは
おっしゃいました。

さわやかな風に吹かれてわたしたちは歩みます。

みんな：神さまの力をください。

一緒に：イエスさまのお名前によって祈ります。アーメン。

祈禱

献金 ご用意のある方は、神さまへの感謝の気持ちをもってお献げください。

主の祈り 先唱者：こどもたち



聖書 マルコによる福音書 4:26~34

こどもたち朗読

新約(新共同訳)P68

26 また、イエスは言われた。「神の国は次のようなものである。人が土に種を蒔いて、27 夜昼、寝起きして
いるうちに、種は芽を出して成長するが、どうしてそ
うなるのか、その人は知らない。28 土はひとりでに実
を結ばせるのであり、まず茎、次に穂、そしてその穂
には豊かな実ができる。29 実が熟すと、早速、鎌を入
れる。収穫の時が来たからである。」

30 更に、イエスは言われた。「神の国を何にたとえよ
うか。どのようなたとえで示そうか。31 それは、から
し種のようなものである。土に蒔くときには、地上の
どんな種よりも小さいが、32 蒔くと、成長してどんな
野菜よりも大きくなり、葉の陰に空の鳥が巣を作る
ほど大きな枝を張る。」

33 イエスは、人々の聞く力に応じて、このように多く
のたとえで御言葉を語られた。34 たとえを用いずに語
ることはなかったが、御自分の弟子たちにはひそかに
すべてを説明された。

賛美 こ) 58 「どんなにちいさいことりでも」



- 1 「どんなにちいさい 小鳥でも 神さまは 育ててくださる」って イエスさまの おことば。
2 「名前も知らない 野の花も 神さまは さかせてくださる」って イエスさまの おことば。

- 3 「よい子になれない わたしでも 神さまは 愛してくださる」って イエスさまの おことば。

説教 「私の中の成長する種」

賛美 こ) 115 「このはなのように」



- 1 この花のように お日さまをあびて すくすく育つ こどもにしてください
2 この花のように みんなの心に やさしくかおる こどもにしてください

- 3 この花のように 神さまの愛を そっとあらわす こどもにしてください

こども祝福式

流川こども園教職員祝福委任式

序 詞

聖 書 マタイ 18 章 12～14 節

勧 告

あなたがたは広島流川教会と共にたてられている流川こども園の教職員のつとめに任じられ、幼な子たちのキリスト教保育にあたっています。このつとめは、主イエス・キリストの招きによるものです。それゆえ、あなたがたは、主の御言葉に従い、全ての幼な子たちと共に、神の恵みと、主イエスの愛を分かち合わなければなりません。一匹の羊をどこまでも探し求められる主が、いつもあなたがたと共にいて、幼な子を抱きとめるその手を支えてくださいますから、安心して、そのつとめにあたってください。あなたがたが、たえず祈り、忠実にそのつとめを果すときに主なる神は必ず良き道を備えてくださいます。また、広島流川教会員の祈りと協力により、この働きが支えられていることを心にとめ、交わりを深めてください。

応 答

私たちは、神の支えと導きにより、この働きに仕えます。

教会員への勧告

この姉妹・兄弟は、この一年新たな思いで流川こども園教職員のつとめにつくことになりました。このつとめは主から託された広島流川教会の重要な任務でありますから、あなたがたはこの一年間、この姉妹・兄弟のために祈り、これを助けるように心がけてください。

流川こども園の教職員の紹介（喜多村文子園長）

祈り

賛美 これさん) 0509 「主につくられたわたし」

調/曲：平良愛香 1996



1. わたしらしく生きよう 自由に生かされて おとなしくでもなく こどもらしくでもなく
ただ わたしを造られた神に应える
ただ わたしらしく生きることで

2. わたしらしく生きよう 自分を確かめて 男らしくでもなく 女らしくでもなく
ただ わたしを造られた神に应える
ただ わたしらしく生きることで

3. わたしらしく生きよう 違いを認め合い 言葉、からだ、習慣 すべてこのわたしです
ただ わたしを造られた神に应える
ただ わたしらしく生きることで

祝福と派遣

アーメン



後奏

司 式 喜多村 文子
説 教 向井 希夫 牧師
奏 楽 高橋 孝子

※お立ちになるのが困難な方は、

座ったままで礼拝をお守り下さい。

※賛美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。